事業所名 グループホーム小町

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和 6年 12月 20日（金）14時00分～14時40分		
参加者	議題	
利用者	0名	1 行事報告
利用者家族	0名	2 今後の行事報告
地域住民の代表者	0名	3 入居者様状況報告
市職員	1名	4 身体拘束適正化検討委員会の議題について
地域包括支援センター職員	1名	5 質疑応答
事業所	2名	6 次回会議開催予定日
会 議 録		
<p>1. 行事報告について</p> <p>《2024年11月》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12日は98歳になった入居者様のお誕生日会を行いました。昼食にお寿司を召し上がって頂きました。15時のおやつの時間にはお誕生日会を行い、生クリームとバナナの手作りクレープを皆様と一緒に召し上がりました。お祝いメッセージ付きの色紙と、手袋と靴下のプレゼントをさせて頂きました。 ・13日は定光寺にお出かけをして紅葉を観て楽しめました。 ・16日は秋の味覚を楽しんで頂く料理イベントを行いました。さつまいもご飯、3種の天ぷら(さつまいも、カボチャ、舞茸)、チンゲン菜のナムル、柿と大根のサラダ、ナスとエノキの味噌汁、そして、おやつには手作りのリンゴのタルトケーキを召し上がり、大変喜ばれました。 ・21日は88歳のお誕生日会を行いました。昼食はお寿司を、15時のおやつの時間にはお誕生日ケーキと冬用の赤い靴下をお祝いメッセージ付き色紙と一緒にプレゼントさせて頂きました。 <p>《2024年12月》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16日に訪問理美容があり、きれいさっぱりして頂きました。 ・20日にクリスマス会を行う予定です。 <p>2. 今後の行事予定</p> <p>《2025年1月》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お正月に新年をお祝いする行事を行う予定です。 ・神社に参拝にお出かけする予定です。 ・入居者様のお誕生日会を行う予定です。 		

3. 入居者様状況報告

- ・入居者様 9 名（男性入居者 1 名 女性入居者 8 名）
- ・平均年齢 88 歳（最低年齢者 82 歳）（最高年齢者 98 歳）
- ・平均要介護度 2.89

4. 身体拘束適正化検討委員会の議題について

議題「せん妄による身体拘束を行わない為の介護」について

せん妄とは、何らかの身体的あるいは環境的な負荷が加わったことで急性の脳機能障害が起こるために生じる精神機能の障害のことを言います。軽度から中等度の突如発症する意識障害を中核症状として、注意や認知の障害を伴います。時間と共に症状は変動します。認知症と類似する症状が現れる為、せん妄なのか認知症なのかを見極めることが難しく、急に認知症になってしまったのではないかとご家族が驚かれることも少なくありません。せん妄はどんな年代でも起こり得る症状ですが、加齢による脳機能の変化が起きている高齢者には特に起きやすい傾向があります。

せん妄になる要因(因子)は主に 3 つに分類できます。①準備因子②促進因子③直接因子の 3 つです。例えば脳血管障害・認知症・高血圧などの慢性疾患・喫煙・アルコールの多飲・薬物乱用などが準備因子となります。促進因子には身体症状（便秘・尿閉・疼痛・脱水・視力障害・拘束・長期臥床）や、心理的社会的ストレス（不安や鬱症状）、環境変化（部屋の明るさ・騒音）、不快な感覚刺激（暑い・寒い・眩しい・暗い）などがあります。直接因子には、薬剤を使ったことによる副作用や電解質異常、呼吸器感染症や肺がんによる低酸素状態、手術、放射線治療などがあります。

具体的なせん妄の症状

- ・「いま、何時なのか？いま私はどこにいるのか？」と日時・場所が分からなくなってしまう。
- ・自宅にいるにも関わらず「今から家に帰る」と言い出す。
- ・「目の前に知らない人が沢山立っているよ」と幻視が起きる。
- ・怒りっぽくなる。
- ・落ち着きがなくなり、動き回る
- ・言っていることと意味が繋がらない行動や言動をする。
- ・過去と現在を混同している。
- ・物忘れがひどくなる。

などがあります。いずれの症状もほんの一例ですが、短時間に出たり消えたり、他の症状に切り替わったりすることがあります。

ここまでではせん妄について述べましたが、では実際にせん妄を発症した場合、私たち介護職員やご家族など、周りの人はいったいどのように対応すれば良いのでしょうか？

グループホーム小町としての「せん妄への対応策」を述べます。

グループホーム小町では、せん妄を発症した人への対応は身体拘束をせずに対応することができます。身体拘束をせずどの様なアプローチをすれば対応ができるのかを

常に考えて実践をしています。

《①情報収集を素早く行い、チームケアできる体制を常に準備しておく》

まず、グループホーム小町では職員全員が、せん妄に対応する基礎知識とその人の日常生活パターンや既往歴、趣味や性格などを日々観察しています。特別なことをしているわけではなく、日々の食事量であったり、水分量、排尿、排便の量、家事やレクリエーションなどの活動を小まめに観察し、記録に残しておくことをしています。そうすることで特別な異変を早期に発見することができ、情報共有することもできます。「あれ？いつもとはちがう、おかしい行動だな。」「とても攻撃的で不穏になっているな」「今日は何日なのか、いまどこにいないのかがわからない様だな」といった内容も日々観察し、記録に書き溜めています。そうすることでその情報を医療職や介護職、ケアマネジャーやご家族にも共有することができます。せん妄に対するアプローチも迅速に対応する環境を整えることができます。

《②危険なモノがないか、周辺の環境を安全に整える》

動き回ったり暴れたりした際に本人や介護職員が安全に対応できる様に周囲に危険なものがないか、安全な環境か、などをチェックして整理整頓をします。また、ベッドの高さも転落のリスクを考えて低めにしています。

《③夜に覚醒してしまう場合は、体内リズムを整える様にする》

どうしても夜に眠れなくなったり動き回ったり騒いでしまう場合など、せん妄の過活動化が進行する場合があります。その様なときは日中に日の光を浴びてできるだけ活動的に体を動かして頂きます。また体を動かせない場合は、会話を楽しんでもらったり、音楽を聴いて楽しんでもらったりします。写真を見て頂いたりすることもします。そうすることで日中の活動量が増えて夜にぐっすり眠れるような環境づくりをします。昼夜逆転の現象は、せん妄を助長させてしまうリスクがありますので、体内時間のリズムを調整するようにしています。

《④つじつまの合わない話などは否定せず、指摘せず、しっかり傾聴する》

穏やかにゆっくりと話しかけ、背中をさすったり手を握ったりしながら傾聴すると効果的です。特に「つじつまの合わない話している」「会話の言葉と意味が繋がらない」などの場合は本人が混乱している場合がありますので、出来る限り傾聴をします。誰かが近くに居てお話を聴いてくれる存在感があれば、ご本人にとって安心感につながり平穏な心を取り戻すひとつのきっかけとなる場合があります。

《⑤水分補給や体調管理を行う》

せん妄を引き起こす要因のひとつに脱水があります。適度に小まめに水分摂取をすることで不安な気持ちや混乱している気持ちが落ち着くことがあります。また、便痛があるときも不穏になりやすいので環境を整えることでせん妄の予防につながることがあります。

《⑥身近な環境に触れる機会をつくる》

施設に入居していたりすると、なかなか家族に会えない様なことがあります。そういった場合は、例えば部屋に家族写真を置く、使い慣れた安心できる物を持ち込むなど、落ち着くことができる様な環境をつくることもせん妄の予防につながります。

《まとめ》

せん妄は認知症によく似た症状を引き起こす意識障害の1つです。脳の機能が低下している高齢者には起こりやすい傾向がありますが誰にでも起こり得る症状です。不安になって急に騒ぎ出してしまったり、怒りだすこともあります。そういったせん妄の症状が出たとしても、身体拘束は一切せずにせん妄へのケアは可能です。本人が安心して穏やかに過ごせるような環境を整えて、また介護者も安全に支援ができる様に環境を整えることが必要です。介護の基礎知識と応用技術を使い、1人で抱え込まずに多職種と連携をしてチームでアプローチすることによって、身体拘束を一切せずに対応が可能となります。

以上。

5. 質疑応答

◆質問① 現在入居者は9名で満床ですか？（ふたば地域包括支援センター様）

→小町は満床ですが、他施設で合計2部屋空いています。（グループホーム小町）

◆質問② 空いたらすぐに入居者は決まりますか？特養でも以前に比べると待機者が少なくなってきました。入居施設がたくさん増えた為だと思いますがどうですか？

（ふたば地域包括支援センター様）

→以前に比べると待機者は少ないです。入居施設がたくさん増えて、分散されている様に感じます。（グループホーム小町）

◆質問③ せん妄と認知症の違いは？（瀬戸市役所高齢者福祉課）

→非常に似ているので、なかなか区別がしにくいですが、せん妄は入院とかで環境が変わると現れることが多いです。環境が戻ったり慣れたりすると改善することがあります。認知症は進行していくので治らないです。対応としては、せん妄も認知症も原因を把握して、アプローチしていくことでせん妄は改善でき、認知症は進行を遅らせることができると思います。入居したての方は環境に慣れていないので、様子をしっかり観察してその方に合ったサービスが提供できる様に対応しています。（グループホーム小町）

6. 次回の運営推進会議開催予定日

2025年2月28日(金) 14:00～ 開催予定となります。

以上。